

# 淀川発見講座2021 開催レポート

淀川発見講座は、一般の方に淀川への関心・興味を深めていただくとともに、淀川管内河川レンジャーとなる人材を発掘・養成する事を目的としています。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、オンラインで開催し、計65名の方が受講しました。

開催日：6月5日(土) 9:00～12:15  
6月6日(日) 9:00～12:15  
開催方法：ウェビナーによるオンライン開催

## 【プログラム】

科目	講師
淀川の自然環境 (写真1)	河合 典彦 氏 (淀川環境委員会 委員)
淀川の特性と治水 (写真2)	中川 一 氏 (京都大学 名誉教授)
淀川歴史探訪5日 (写真3)	久岡 道武氏 (京都市上下水道局 琵琶湖疏水記念館 資料研究専門員)
淀川歴史探訪6日 (写真4)	寺町 豊氏 (高槻市都市創造部 下水河川企画課長)
河川レンジャーの概要について (写真5)	山口 遼太氏/服部 元子氏 (淀川管内河川レンジャー)



開講 あいさつ 三戸雅文事務所長

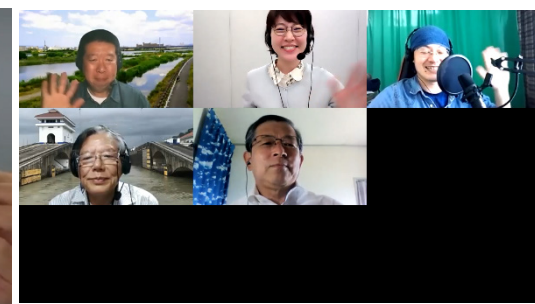
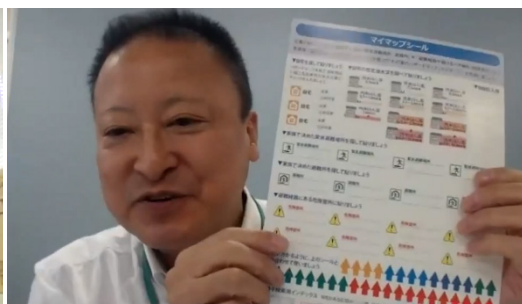


レンジャー活動の流れ

(写真1) 淀川の様々な生物、河川環境の変化、環境保全の取り組み等を多数の写真で紹介。

(写真2) 最近の水害、淀川の治水計画、河川整備等について、講義。

(写真5) 河川レンジャーの概要とレンジャー養成講座の内容を紹介。



(写真3) 琵琶湖疏水の建設の経緯から現在に至る歴史を解説、日本遺産認定された今を伝える。

(写真4) 明治時代の大きな大塚切りの歴史から現在の高槻の治水対策までを紹介。

閉講時 講師・レンジャーが揃って挨拶、受講者の退室を見送り。

- どの講師の説明も興味深く、外来生物の脅威、治水の歴史に興味を感じました。川識を増やしていきたいです
- 三つの講義がとてもテンポよく、かつ興味深くとても有意義なものでした。内容は濃く、初めて触れる内容に感激しました。淀川や琵琶湖疏水がとても身近に感じられ、治水、利水、環境の三つに整理された講義はとてもわかりやすいものでした。
- オンラインになり感染予防だけでなく、移動時間を削減でき、効率的に学ぶことができよかったです。講義中心の講座はコロナ収束後もあっても良いのではないかと思います。

## 参加者の声

淀川管内河川レンジャーは、淀川流域にお住まいの皆さんと行政が一緒になって淀川・桂川・宇治川・木津川をより良くしていくために活動しているコーディネーター(橋渡し役)です。

▶ 詳しくは、淀川管内河川レンジャーのホームページをご覧ください。

<https://www.river-ranger.jp/>

淀川管内河川レンジャー

検索

